

**町の人口** (3月末)

世帯数 1517 (-8)

人口

男 3378 (-42)

女 3524 (-45)

計 6902 (-87)

( ) は2月との比較

# 広報かわぐち

No. 1

発行所 川口町公民館

印刷所 山勝堂印刷所



小学校一年生  
うれしげにやさしげに張りつめて  
カラフルな児童たちの歩み



## 川口町議会三月例会において

### 積極的な自治体運営

#### —教育環境の整備に重点—

ここに、川口町議会の三月例会を招集して、昭和四十七年度予算並びに関係議案を提出するにあたり、私の所信と予算の概要を申し述べ、議員諸氏をはじめ、町民各位のご理解とご協力を、お願い申し上げます。

一 経済の動向  
先ず、最初に、予算編成の背景であります。経済の動向並びに国の予算編成方針等について申し上げます。

ご承知のとおり、わが国の経済は、これまで他に比類のない安定成長を続けてまいりました。安定成長は、四五年秋から、急速に後退過程にはいり、更に、昨年八月十五日に発表された、米国の新経済政策によって、国際通貨体制が動揺し、輸出成約の減退、商品市況の軟化、あるいは、設備投資意欲の減退等によって、状況が益々悪化してまいり、目下、円の切り上げ、即ち、新しい通貨体制が確立されたといえ、その試練のなかから、短期間における景気の回復は望めず、四十七年度における経済の動向は、極めて流動的であり、決して楽観を許さないものであります。よって、景気の停滞が、なお、長期に続くとすれば国民生活に大きな影響を与えるのみならず、国際収支の調整も阻害さ

る恐れなしとしない観点からいたしまして、国は四十七年度中に国内経済を拡大し、経済活動を確固たる所道にのせるため、財政法の許す範囲内における、公債政策を活用し、積極的かつ、機動的な財政金融政策の運用を基調として予算を編成いたしましたのであります。

一 予算編成の基本方針  
而しながら、国の財政が公債によって、その規模を拡大する場合には、それに関連して地方支出が増加するにもかかわらず、これに対応する地方交付税及び地方税の増収は望めないであります。従って、国は、これらの財源不足を交付税特別会計における借り入れと、地方債の充当によって、補填するよう措置されましたけれども、この措置は、異常な景気の落ち込みに対処するため、緊急止むを得ないものであるといえ、地方公共団体の後年度の財政負担に大きな問題を残す結果となつたことは、いかなるものでありまして、現在、地方制度調査会において、真剣に論議がなされているところであり、また、このように、未だかつてない厳しい情勢下において、本町に、上越新幹線の敷設がきまると、更に、近く、開通高速自動車道も、その路線が発表されるものと思われ、私は、変貌する社会情勢に対応した施策を、誤りなく、積極的に推進し、町民の幸

福を、より、豊かに地域社会を建設する。め、最大の努力をいたしてまいり、存存であります。

さて、年度の予算でございますが、新年度も前年度同様、義務的経費いわゆる人事院の勧告による職員給与費をはじめ、地方債償還費などの増減が依然として財政を圧迫する反面、自主財源の大宗をなす、町税は景気の低滞に加入税減税の影響を受け、各種控除額や免税点の引き上げにより、自動車重量税等、十年度化等による自然増収を見込め、その伸び率は極めて低く、一方歳入の大半を占める地方交付税につきましても、事業費の補正、並びに土地開墾、金費の需要増大が停止されるなど、これまでのような伸び率は期待できないのであります。而しながら、私は、より一層町民福祉の向上を図るため、最少の経費をもって最大の効果をあげるべく、自治体運営の基本原則に則り、経済の動向を注視しつつ、積極的に施策の推進を図ることと、消費的経費については、厳にこれを抑制し、過剰地域対策緊急措置法並びに豪雪地域対策特別措置法など、地域開発関係法を十分に活用し、に国庫補助金の増額に留意し、町民福祉の向上を主軸として、生活関連社会資本の整備、社会福祉の充実と最大の力を点をおき、産業の振興と兼重対策、教育効果の拡大と町民体位の向上などを重点に、本予算を編成いたしましたのであります。次に、これらの重点施策とあわせて、予算の概要について申し上げます。

一 条例規則の整備と給与改定等  
先ず、行財政運営の基本であり

## 小・中学校の先生の異動

転出される先生方の、ご栄転を、お祝いして転入される先生方の、ご尽力をお願いいたします。

【転出】

(川口小) 小寺大助小(教頭)  
梅沢義夫 北魚小出小  
金子ヒナ 十日町小  
佐伯幸子 北魚下条小  
横山フミ (泉水小) 中魚沼高小(校長)  
渡辺俊七 (田山小、小高小)  
金子セキ 小千谷真人小  
(木沢小) 梶尾川谷小  
小田島房 退職  
阿部夏江 (山ノ相川小)  
斎藤正夫 県指導主事  
白石保 川口中(教頭)  
(川口中) 小千谷由小(校長)  
田中市作 長岡市山本中  
伊賀政次 長岡市山本中  
(木沢中) 長岡市指導主事  
浜口善久治 長岡宮内中  
星野正雄 三条市三葉第四中  
中川治 (田山山中)  
田中孝 新潟岡川中  
藤原俊信 (田山山中ノ相川分)  
白鳥享友 新潟・新津中  
(転入)

(川口小) 北魚小出小  
桜井アヤ 十日町中条小  
村山明 北魚小出小  
山之内竹千 古志郡種子原小  
同合清久 (泉水小)

## 短歌

岩出原 星野熊太郎 八十四才  
晩酌をひかへめにして農吾れの  
働く老の心潤てり

暇みに話す言葉を病む妻に  
涙ぐまれて わが胸かなし

老妻は思へばあわれみずからの  
年同歳と われにききたり

(昭和四十七年度新春)  
富士山のぼるころそ初春は  
生きて迎ふる 八十四歳

舗装路に羽毛の如く降る雪も  
かたちとどめず 立春今日は

樋宮靖雄 古志郡種子原小(教頭)  
(田山小、小高小) 中魚三箇小  
桑原亨子 (木沢小) 梶尾東谷小  
宮 俊之 新採用  
新田まゆみ (山ノ相川小) 直江津小(校長)  
子田八郎 南魚沼中(教頭)  
青木芳雄 (川口中) 山ノ相川小(教頭)  
白石保 北魚須原中  
重野 武 (木沢中) 南魚六日町小(教頭)  
吉田福恵 北魚沼之又  
桜井 幸 新採用  
清水 明 (田山山中) 中魚外丸中  
桑原 忠 新採用  
岩下 亮 新採用

(注) 星野さんはご高齢にもかかわらず大変勉強家なのは驚きました。編集者の無理なお願いに心よく応じて下され、毛筆にて見事な原稿をお寄せ下さいました。厚くお礼申し上げます。どうぞ水く、ご趣味を生きかして下さい。

長岡 関 秀月

少女らは声をそろえてわらべ唄うたいつくる 山の夕暮  
過ぎし日にこぶなつりして遊びたる 古里の川見ればなつかし  
其の昔秀才の名の高かりし友はさみしく死にてゆきけり  
卒業の記念の写真とりだして病の床に 其の頃のふ  
病院の長き廊下にたゞ一つ 裸電球 冷え冷えとして  
六十年を耕作に生きて重負ける 老夫は今日の 喜びあふれ

## 公民館の題字を改正

### 「広報かわぐち」よろしく

かつては「村だより」の題名のもとに発足した広報紙は、その後「公民館報」と改め長らく皆様愛読されて来ましたが、この度「広報かわぐち」と改めました。これは、単に「公民館報」といったのでは、題名が何となく内容にそぐわない感じがすること、川口町、という固有の同名的なイメージを持たせたいと考えたからです。

題名を変えることには、いろいろとご意見もあるかと思いますが大方の皆様のご意見を御得改めた訳です。文字通り広報紙の使命を達するよう、又町民の皆様のご意見発表にも役立つものに育てたいと考えて居ります。皆様のご支援をお願い申し上げます。

拾い話!!

◇ 汽車の中で六十才位と思われる二人の話。  
○「Aさんもうとうとう亡くなりましてね、これからは楽しみというのに」  
△「全くですな、Aさんは本当に苦勞なすつた。コンソツ働いてお金をためて……」  
○「お金をためて何になるか、死んで持っていくものもなし生活できればその上は望みませんよ……」  
△「全くですな、時たまこうして旅行ができれば、それが何よりですな……」  
◇ それから二日はかりたつた或る日、六十才位の小肥りの人、「週休二日制なんてことは収入の多い人の云うことだ、一週に二日も休んだらどうなるだろう、わし等は年中無休だ、たまに休むと却って体がいたみますよ……」  
この二つの話、はてな?!



ます、条例規則の整備でござい  
ます。年々編纂する事務処理に  
対し、より一層、町民サービスの  
向上に資するため、新年度は、新  
たに本町の例規集を作成するこ  
とにいたしました次第であります。次に  
本予算とは直接関係はございませ  
んけれども、田舎山支所の位置に  
ついて申し上げたいと存じます。  
ご承知のように、奥道向山越後川  
口停車場の改良によりまして、  
現庁舎は移転の止むなきに至りま  
したので、地元住民の方々と慎重  
に協議いたしました結果、四月  
一日からは田舎山診療所に支所を  
併設することにいたしました。次  
に報酬の改正並びに職員給与  
費についてでございますが、公務  
員の給与改定など諸情勢を客観的  
に考慮いたしまして、議会議員の  
報酬につきましては、全面的にこ  
れを改定することとし、議員以外  
の非常勤の特別職にかかる報酬に  
ついては一部不均衡の是正を行な  
うことにいたしましたのであります。  
なお、職員の給与につきましては  
新年度も人事院の勧告が予想され  
ておりますので、義務的経費の財  
源確保として、一応五パーセント  
アップ相当額を本予算に予備費と  
して組み入れた次第であります。

【生活関連社会資本の整備】  
次に、本予算の中核であります  
生活関連社会資本の整備について  
申し上げます。先ず、  
社会資本の整備を考へますとき、  
何よりも積極性が強く望まれるの  
でありますけれども、窮迫した財  
政事情の中においては、あらゆる  
施策について、一斉にスタートを  
切ることは事実上不可能でありま  
す。従いまして、当面の問題とし  
て、主要道路の整備改良と、簡易  
水道施設の改善について特に意を  
用いたのであります。道路網の整  
備は、地域開発の根幹であり、道  
路の整備なくして町の進展はあ  
り得ないという考え方をかりいたし  
まして、舗装の計画的実施も考へ  
合わせ、継続事業を優先として、  
これに新規事業を重点的におりて  
んで大巾な予算投入を図った次第  
であります。又、県道の整備改良  
及び治山治水、河川改修等の問題  
につきましては、地域住民の懸念  
でありますところの、西倉橋の架  
設促進と、並びに荒谷道道橋の架  
設促進などを主体として、その早期  
実現についてより一層強力に国県  
に働きかけてまいりたいと存じま  
す。なお、簡易水道施設の改善に  
つきましては、ご承知のとおり東  
部簡易水道は、生活様式の変化な  
どにより、急激に需要の増加をき  
たし、現在の給水方式では完全給  
水は不可能な状態でありまして、従  
いまして、これまで四川口地区の  
給水とあわせて、種々その対策を  
進めてまいりましたのであります。

【社会福祉の充実】  
次に、社会福祉の面について申  
し上げたいと存じます。最近、各  
種年金の増額あるいは、児童手当  
制度が創設されるなど、国県の強  
力な施策によって、社会福祉制度  
は、かなり充実されてまいりまし  
た。が、私は、当面の問題として  
まして、先ず、国県の施策のゆき  
届かない、即ち、法外援助対策を  
強化するため、新年度において、  
社会福祉協議会を法人化すること  
とし、更に、当然のことではあり  
ますが、老人福祉、なかんずく、  
ひとり暮らし老人対策、あるいは成人  
病、母子衛生などにつきましても  
前年度以上に意を用いた次第であ  
ります。又、児童福祉施設充実の  
見地から、昨年建設いたしました  
四川口保育所を、東部保育所同様  
常設保育所として幼児保育の充実  
を図ることいたしました。なお  
火葬場の使用料を国保における給  
付改善など、隣接市町村の実態も  
これを考慮いたしまして、一部引  
き上げることにいたしましたのであ  
ります。又、生活様式の変化と公害  
排除などに関連して塵芥の処理が  
大きな問題となっておりまして、  
この広域処理につきましても、  
今後小千谷市との間に  
増と相成った次第であります。私  
に、産業の振興と新需対策に  
ついて申し上げます。

【産業の振興と新需対策】  
次に、中小企業の振興について  
申し上げます。今や中小企業は、  
需要構造の要革などによって、  
過去二ヶ年間、町民各位のご理解  
あるご協力をいたしまして、米の生  
産調整という、切実な問題を処理  
してまいりましたが、愈々本年は  
第三年目をむかえるわけでありま  
す。本町の農業経営の前途は、  
まことに厳しいものがあります。  
年々米が百五十万トンを上り余る  
という現実からいいますれば、  
不本意ながら国の施策に対応した  
方策を講じてこれを打開してまい  
らねばなりません。もとより、私  
は農業生産の地域分担を明確にし  
て画一的な施策から脱却すべきで  
あると主張してまいりましたわけ  
であります。本県の気象条件、なか  
んずく、魚沼地帯の風土、立地条  
件は最も耕作に適しているもので  
あります。これが地域分担の早期  
実現こそ、私の最大の念願であり  
ます。而しながら直前にある問  
題の解決は如何にあるべきかと考  
へますとき、先ず、創意と工夫の  
うえに立って米の商品性を重点と  
した、良質米の生産とあわせ、副  
産物の増大を図るべきであると  
存するのであります。従いまして  
養蚕、そば、園芸、養蜂などの振  
興につき、前年度同様意を用いた次  
第でございます。更に、農家の  
方々とは膝をつき合わせ、お互い  
に研究を重ねてまいりたいと存  
じます。なお、生活環境の改善  
を図るため、補助金のかく得る前  
提に相川地区に集落開発センター  
を設置すべく予算措置いたしました  
が、今後山村振興法に基づき山  
間へき地の開発につきましても、  
十分検討してまいりたいと存じま  
す。

【学校統合と町民体位の向上】  
次に、教育効果の拡大と町民体  
位の向上について申し上げます。  
存じます。申し上げるまでもなく  
教育は国家百年の大計であり、学  
校は次代を担う青少年の健全育成  
の場でありまして、よって、学校教  
育につきましても、施設の改善費  
など、可能な限り予算措置をいた  
し、特に木沢小学校に学校プールの  
建設することいたしました。ほ  
か、社会教育についても、地区館  
の助成費を増額するなど、意を用  
いた次第であります。なお、町民  
体位の向上は、常に申し上げてお  
りますように、私の一つの大きな  
念願でもあります。よって、新年  
度は更に魚野川の河川敷を占用さ  
せていたとき、町民運動場を整備  
することにいたしました。

【消防施設の充実等】  
以上、重要施策に対する私の考  
え方と予算の概要について申し上げ  
ましたが、このほかに当然のこと  
ではあります。消防防犯の事項と  
して、交通安全施設ならびに消防  
防災施設の整備に一段と意を用い  
、更に昨年、町内外の各位から並々  
ならぬご尽力をいたして発足した  
たのであります。川口町観光開発株  
式会社に対して、町費補助金を支  
出すべく措置いたしました次第であ  
ります。又、税外収入確保のため、今回  
関係条例の整備を行なうことにな  
りました。

【予算の性格】  
さて、学校の統合でござい  
ます。時代の推移に伴って、一層  
教育効果の拡大を図るため、教育  
委員会の審議に基づきまして、議  
会議員をはじめ学区代表の方々と  
あらゆる角度から慎重に審議いた  
しました結果、町内の全中学校を  
統合して、新たに統合校舎を西川  
口地区に四十七年度から六ヶ年計  
画をもって建設することとし、更  
に和津津小学校を四十八年度に、  
川口小学校に統合すべく、それぞ  
れ計画いたしました次第でございま  
す。思えば、永年の風雪に耐え、社会  
に貢献し、又、地区の中心として  
大きな役割を果たしてまいった学校  
の歴史をここに閉じ、巨額の経費  
を投じて統合校舎を建設することは  
本町の画期的一大事業であり、物  
心両面にわたって、固り知れない幾  
多の困難性を伴うものと思いま  
すけれども、時代の推移により、  
今こそその時期が到来いたしました  
のであります。何事、町民各位の  
ご理解あるご協力を切にお願い申  
し上げる次第でございまして。

以上、申し上げました方針の  
もとに編成いたしました昭和四十七  
年度一般会計予算は総額、三億六  
千三百七十七万と相成りました。  
この財政規模は、前年度当初予算  
に比較いたしまして、九パーセン  
トの伸長となつたのであります。  
なお、本予算は予算の困難なもの  
又、土木費における公共事業費の  
負担金、職員の給与改定費及び学  
校統合にかかる用地買収費などを  
除いて、通常の性格をもつものと  
いたしたのであります。本予算  
に組み入れなかつたこれらの経費  
につきましては、町税、地方交付  
税及び地方債を主体として、対処  
してまいれる所存であります。

【特別会計】  
引き続きまして、特別会計の予  
算について申し上げます。特別  
会計の予算は、これまで  
申し上げました一般会計の予算と  
同様の方法によること、独立採  
算制と企業努力の原則を基調とし  
て編成いたしましたのであります。先  
ず、国民健康保険会計は、前年度  
同様受診率の向上と費用負担の増  
加に加えて、新年度は本年二月か  
らの医療費改定及び四十八年一月  
から七十才以上の老人に対する医  
療費の完全無料化により、現行の  
保険料では運営が困難な実情でござ  
います。従いまして新年度は任  
意給付でありますところの助産  
費、育児給付の引き上げとあわ  
せて、保険料を約七パーセント増  
徴することにいたしました次第であ  
ります。なお、直診助定につきま  
しては、収支にアンバランスを生じ  
ておりますので、新年度は一般会  
計から財政援助の措置をとりまし  
たが、今後財政健全化のため慎重  
に検討してまいれる所存でござい

【生活関連社会資本の整備】  
次に、本予算の中核であります  
生活関連社会資本の整備について  
申し上げます。先ず、  
社会資本の整備を考へますとき、  
何よりも積極性が強く望まれるの  
でありますけれども、窮迫した財  
政事情の中においては、あらゆる  
施策について、一斉にスタートを  
切ることは事実上不可能でありま  
す。従いまして、当面の問題とし  
て、主要道路の整備改良と、簡易  
水道施設の改善について特に意を  
用いたのであります。道路網の整  
備は、地域開発の根幹であり、道  
路の整備なくして町の進展はあ  
り得ないという考え方をかりいたし  
まして、舗装の計画的実施も考へ  
合わせ、継続事業を優先として、  
これに新規事業を重点的におりて  
んで大巾な予算投入を図った次第  
であります。又、県道の整備改良  
及び治山治水、河川改修等の問題  
につきましては、地域住民の懸念  
でありますところの、西倉橋の架  
設促進と、並びに荒谷道道橋の架  
設促進などを主体として、その早期  
実現についてより一層強力に国県  
に働きかけてまいりたいと存じま  
す。なお、簡易水道施設の改善に  
つきましては、ご承知のとおり東  
部簡易水道は、生活様式の変化な  
どにより、急激に需要の増加をき  
たし、現在の給水方式では完全給  
水は不可能な状態でありまして、従  
いまして、これまで四川口地区の  
給水とあわせて、種々その対策を  
進めてまいりましたのであります。

【社会福祉の充実】  
次に、社会福祉の面について申  
し上げたいと存じます。最近、各  
種年金の増額あるいは、児童手当  
制度が創設されるなど、国県の強  
力な施策によって、社会福祉制度  
は、かなり充実されてまいりまし  
た。が、私は、当面の問題として  
まして、先ず、国県の施策のゆき  
届かない、即ち、法外援助対策を  
強化するため、新年度において、  
社会福祉協議会を法人化すること  
とし、更に、当然のことではあり  
ますが、老人福祉、なかんずく、  
ひとり暮らし老人対策、あるいは成人  
病、母子衛生などにつきましても  
前年度以上に意を用いた次第であ  
ります。又、児童福祉施設充実の  
見地から、昨年建設いたしました  
四川口保育所を、東部保育所同様  
常設保育所として幼児保育の充実  
を図ることいたしました。なお  
火葬場の使用料を国保における給  
付改善など、隣接市町村の実態も  
これを考慮いたしまして、一部引  
き上げることにいたしましたのであ  
ります。又、生活様式の変化と公害  
排除などに関連して塵芥の処理が  
大きな問題となっておりまして、  
この広域処理につきましても、  
今後小千谷市との間に  
増と相成った次第であります。私  
に、産業の振興と新需対策に  
ついて申し上げます。

【産業の振興と新需対策】  
次に、中小企業の振興について  
申し上げます。今や中小企業は、  
需要構造の要革などによって、  
過去二ヶ年間、町民各位のご理解  
あるご協力をいたしまして、米の生  
産調整という、切実な問題を処理  
してまいりましたが、愈々本年は  
第三年目をむかえるわけでありま  
す。本町の農業経営の前途は、  
まことに厳しいものがあります。  
年々米が百五十万トンを上り余る  
という現実からいいますれば、  
不本意ながら国の施策に対応した  
方策を講じてこれを打開してまい  
らねばなりません。もとより、私  
は農業生産の地域分担を明確にし  
て画一的な施策から脱却すべきで  
あると主張してまいりましたわけ  
であります。本県の気象条件、なか  
んずく、魚沼地帯の風土、立地条  
件は最も耕作に適しているもので  
あります。これが地域分担の早期  
実現こそ、私の最大の念願であり  
ます。而しながら直前にある問  
題の解決は如何にあるべきかと考  
へますとき、先ず、創意と工夫の  
うえに立って米の商品性を重点と  
した、良質米の生産とあわせ、副  
産物の増大を図るべきであると  
存するのであります。従いまして  
養蚕、そば、園芸、養蜂などの振  
興につき、前年度同様意を用いた次  
第でございます。更に、農家の  
方々とは膝をつき合わせ、お互い  
に研究を重ねてまいりたいと存  
じます。なお、生活環境の改善  
を図るため、補助金のかく得る前  
提に相川地区に集落開発センター  
を設置すべく予算措置いたしました  
が、今後山村振興法に基づき山  
間へき地の開発につきましても、  
十分検討してまいりたいと存じま  
す。

【学校統合と町民体位の向上】  
次に、教育効果の拡大と町民体  
位の向上について申し上げます。  
存じます。申し上げるまでもなく  
教育は国家百年の大計であり、学  
校は次代を担う青少年の健全育成  
の場でありまして、よって、学校教  
育につきましても、施設の改善費  
など、可能な限り予算措置をいた  
し、特に木沢小学校に学校プールの  
建設することいたしました。ほ  
か、社会教育についても、地区館  
の助成費を増額するなど、意を用  
いた次第であります。なお、町民  
体位の向上は、常に申し上げてお  
りますように、私の一つの大きな  
念願でもあります。よって、新年  
度は更に魚野川の河川敷を占用さ  
せていたとき、町民運動場を整備  
することにいたしました。

【予算の性格】  
さて、学校の統合でござい  
ます。時代の推移に伴って、一層  
教育効果の拡大を図るため、教育  
委員会の審議に基づきまして、議  
会議員をはじめ学区代表の方々と  
あらゆる角度から慎重に審議いた  
しました結果、町内の全中学校を  
統合して、新たに統合校舎を西川  
口地区に四十七年度から六ヶ年計  
画をもって建設することとし、更  
に和津津小学校を四十八年度に、  
川口小学校に統合すべく、それぞ  
れ計画いたしました次第でございま  
す。思えば、永年の風雪に耐え、社会  
に貢献し、又、地区の中心として  
大きな役割を果たしてまいった学校  
の歴史をここに閉じ、巨額の経費  
を投じて統合校舎を建設することは  
本町の画期的一大事業であり、物  
心両面にわたって、固り知れない幾  
多の困難性を伴うものと思いま  
すけれども、時代の推移により、  
今こそその時期が到来いたしました  
のであります。何事、町民各位の  
ご理解あるご協力を切にお願い申  
し上げる次第でございまして。

### 三月定例会閉会

#### 全議案を可決

町議会三月定例会は、  
本紙先号でお知らせした  
とおり、三月二十三日に  
全議案を可決して閉会し  
ました。議案審議にあ  
たって、主なる質疑応答と一般質  
問が次のとおりありました。

【質疑応答(要旨)】  
昭和四十七年度当初予算と、関  
連議案に対する質疑は、本会議第  
二日目の三月十三日に、総括質疑  
の形でおこなわれました。

【議員報酬改正の理由を示しては  
報酬よりも費用増の改正を考  
へるべきかと思うがどうか。】  
星野町長  
「財政的には苦しいが、郡内各町  
村と同一歩調になるよう考慮し  
たものである。」  
「費用増は考えない。」  
上村喜平治議員  
「今後の補正をどの程度に見込ん  
でいるか。」  
「街灯費の全額町費負担は良いこ  
とであるが、ごみ収集料を無料

【議員報酬改正の理由を示しては  
報酬よりも費用増の改正を考  
へるべきかと思うがどうか。】  
星野町長  
「財政的には苦しいが、郡内各町  
村と同一歩調になるよう考慮し  
たものである。」  
「費用増は考えない。」  
上村喜平治議員  
「今後の補正をどの程度に見込ん  
でいるか。」  
「街灯費の全額町費負担は良いこ  
とであるが、ごみ収集料を無料

【議員報酬改正の理由を示しては  
報酬よりも費用増の改正を考  
へるべきかと思うがどうか。】  
星野町長  
「財政的には苦しいが、郡内各町  
村と同一歩調になるよう考慮し  
たものである。」  
「費用増は考えない。」  
上村喜平治議員  
「今後の補正をどの程度に見込ん  
でいるか。」  
「街灯費の全額町費負担は良いこ  
とであるが、ごみ収集料を無料

【議員報酬改正の理由を示しては  
報酬よりも費用増の改正を考  
へるべきかと思うがどうか。】  
星野町長  
「財政的には苦しいが、郡内各町  
村と同一歩調になるよう考慮し  
たものである。」  
「費用増は考えない。」  
上村喜平治議員  
「今後の補正をどの程度に見込ん  
でいるか。」  
「街灯費の全額町費負担は良いこ  
とであるが、ごみ収集料を無料

【議員報酬改正の理由を示しては  
報酬よりも費用増の改正を考  
へるべきかと思うがどうか。】  
星野町長  
「財政的には苦しいが、郡内各町  
村と同一歩調になるよう考慮し  
たものである。」  
「費用増は考えない。」  
上村喜平治議員  
「今後の補正をどの程度に見込ん  
でいるか。」  
「街灯費の全額町費負担は良いこ  
とであるが、ごみ収集料を無料

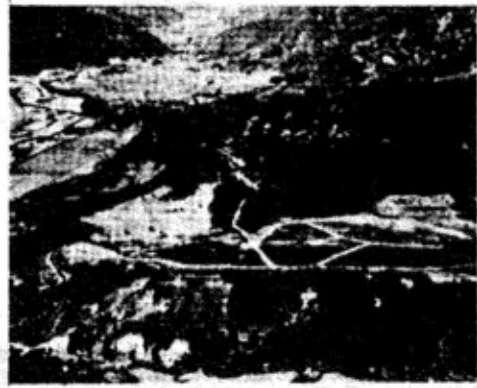
【議員報酬改正の理由を示しては  
報酬よりも費用増の改正を考  
へるべきかと思うがどうか。】  
星野町長  
「財政的には苦しいが、郡内各町  
村と同一歩調になるよう考慮し  
たものである。」  
「費用増は考えない。」  
上村喜平治議員  
「今後の補正をどの程度に見込ん  
でいるか。」  
「街灯費の全額町費負担は良いこ  
とであるが、ごみ収集料を無料

【議員報酬改正の理由を示しては  
報酬よりも費用増の改正を考  
へるべきかと思うがどうか。】  
星野町長  
「財政的には苦しいが、郡内各町  
村と同一歩調になるよう考慮し  
たものである。」  
「費用増は考えない。」  
上村喜平治議員  
「今後の補正をどの程度に見込ん  
でいるか。」  
「街灯費の全額町費負担は良いこ  
とであるが、ごみ収集料を無料







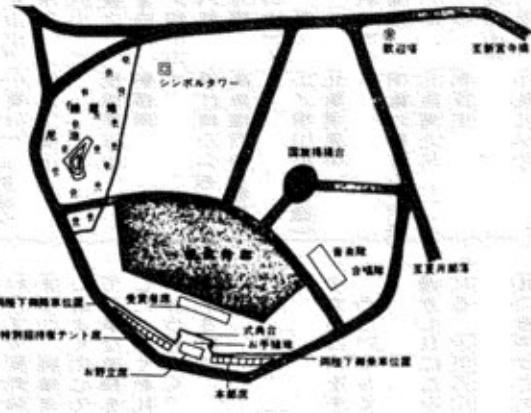


第23回全国植樹祭

北浦原郡黒川村胎内平において

全国植樹祭とは国土緑化運動の中心行事として昭和二十五年から開催されてきたものであるが、国土の保全、水資源の確保はもちろ...

の増進を図ろうというものである。式典は、森の字をかたどって三本すつ「すき」の苗木を天皇・皇后両陛下にお手植えしていただく...



第23回植樹祭テーマ

県土の保全と、緑ゆたかな環境づくり

植樹祭標語

木を植えて えがく郷土の あすの夢
緑の芽 育てて豊から 國づくり
住みよきは あなたが植える みどりから

造林推進協議会を設立し、幅広い範囲から集まっていたいた委員をはじめとして町民あけて造林推進運動が展開されることを期待しております。



田麦山支所(旧田麦山村役場)全景

住民の愛惜の中で

歴史の幕をとじる 旧田麦山村役場
はそのまま、川口町役場田麦山支所として、現在までその偉容を誇り、十一時にはサイレンを鳴らして時刻を告げ、住民から親しまれて来ましたが、この庁舎は十九年と云う短い期間であったが変動期の田麦山の姿を織込んだ、想い出多...

交通安全 スローガン

とっさの時に さげられますか その運転で
ゆっくり待って さっさと渡る
あ、ドッキリ
フイなどび出し もうしません

税務の窓

不動産を買ったときの税金

登録免許税
土地や家屋などを取得したとき、その権利を明らかにするために、所有権の移転登記あるいは新築住宅の所有権の保存登記をしますが、その際にかかる税金が登録免許税です。この税金は国税の一種です。税率は登記の種類や区分によって次の表のようになっています。

Table with 2 columns: 登記の原因 (Cause of registration) and 税率 (Tax rate). Rows include acquisition by purchase, gift, inheritance, and preservation of ownership.

この場合の不動産価額は、役場に備え付けられている固定資産台帳に登録された価格によることとなります。なお、個人住宅の保存登記や建売住宅の移転登記については次の要件にあっては、それぞれ税率が二割に軽減されます。

①昭和四十八年三月三十一日までの間に新築した居住用家屋(新築住宅の場合)②新築した者から個人が取得し、自分の住宅に使うこと。
②新築後一年以内(一年以内に登記ができない特別な理由があるときは、取得後一年以内)に所有権の移転登記をすること。(新築後に賃貸されたものを除きます)

また、取得した不動産の価格が、次の場合には、不動産取得税は課税されません。
土地 五万円未満
家屋 (新増築などの場合)一戸につき 十五万円未満 (売買などの場合)一戸につき 八万円未満

確定申告をまちがって

昭和三十九年分所得税の確定申告は、三月十五日で終了しましたが、この確定申告にまちがいがあつた場合には、次の手続きによって正しい税額に訂正することが出来ます。
修正申告
確定申告の所得額や、税額が少なすぎたときや、還付を受ける金額が多かったことに気づいたときは「修正申告」をしてください。

確定申告をまちがって

〇五日は税の相談日
税務署では、毎月、五日、十五日、二十五日を「税の相談日」として、署の担当者が税金のおたづねにお答えしています。この日が日曜や祭日にあたるときは、その翌日となります。税の相談は、全国どこでも出来ます。また、匿名でも相談は、いつでも出来ます。相談は、無料です。お気軽にご利用ください。

川口町保育所入所児童数調

Table showing the number of children in the Kawaguchi Town Child Care Center. Columns: 保育所名 (Child care center name), 未満児 (Under 1), 年少児 (1-2), 年中児 (2-3), 年長児 (3-5), 計 (Total).

西川口保育所 常設となる

地域住民の要望により、昨年西川口保育所は、施設・設備の整備された新しい建物も建築し、四月一日からは常設保育所として認可になりました。
東部保育所につく常設保育所で認可人員六〇名、新たに未満児の保育をいたします。四月五日には入所式を行います。子供達が元気に飛びまわっております。

北陸地方 長期予報

春の天候は一時低温となる時期もあるが、暖かな晴天が多い見込みです。
梅雨の入りは平年並みかやや遅く、梅雨前線の活動は活発で、はたけが多いでしょう。
4月~9月
梅雨の後半は大雨が降りやすくなり、梅雨明けは、やや遅れる見込みです。
盛夏期は天候の変動が大きい見込みですが、平均すると平年程度の暑さとなる。秋の訪れは早く、台風の影響は三十個くらいで、本土に影響する台風は四五個くらいの見込みです。
寒気も太平洋高気圧の勢力も強いので、気温と湿度も極端な変動が予想され、晩春の高温少雨、梅雨期の低温、悪天など異常気象の起こる傾向がありますので、今後の長期予報に注意して下さい。

学生募集

海上保安庁では、昭和四十七年度海上保安学校航海、機関課程の学生を募集しております。
一 受験資格
昭和二十三年四月二日以降に生まれた男子で、高等学校を卒業した者及び、高等専門学校第三学年を修了した者で、身長一五七センチ、体重四十八キログラム、胸囲七十七センチ、裸眼視力「E」以上あり、色覚、聴力に異常のない者。
二 受付期間
昭和四十七年四月二十四日から昭和四十七年五月十二日まで。
三 試験日
第一次試験 六月十一日 教養、作文。
第二次試験 八月二日、人物試験、身体検査、体力検査。
四 その他
試験に合格した場合は、国家公務員となり学費ながら給与三万三千円程度と手当が年に給与月額四、八月分が支給されます。
詳細につきましては、新潟市万代二丁目第九番区海上保安本部人事課、又は町役場総務課へおたずね下さい。